



HPは
こちら

令和3年1月20日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

令和2年度坂東地域アグリセミナー「農作業機械安全使用講座」を開催しました



12月18日、坂東普及センター主催により、「令和2年度坂東地域アグリセミナー農作業機械安全使用講座」を開催し、県西地域の新規就農者・若手農業者8名が受講しました。

まず、農研機構 農業技術革新工学研究センターの志藤博克氏より、「農業機械の適正使用について」をテーマに、農作業事故の事例や安全対策について講演をしていただきました。講演の中で、「農作業事故は最大の経営リスクの一つ」、「労働安全の最

も基本となることは整理整頓」、「安全は収益向上に繋がる」等、労働安全を守っていくことは作業の効率化や生産性向上にも繋がることを学ぶことができました。

次に、坂東普及センターより、「トラクターの扱い方について」をテーマに、トラクター実機を用いてエンジンオイルやファンベルト等、セルフメンテナンスのポイントについて説明しました。

2つの講義を通じて受講生からは「事故やケガがあってからでは遅いということがより身近に感じられた」、「自身が使っている農作業機械の扱い方を今一度再確認したい」等の声がありました。

普及センターでは、今後も栽培技術や先進事例、経営管理等のセミナーを開催し、新規就農者の支援に努めていきます。



令和3年4月1日に「坂東市岩井4Hクラブ」と「坂東市猿島4Hクラブ」が合併予定

坂東市には「坂東市岩井4Hクラブ」と「坂東市猿島4Hクラブ」の2つの4Hクラブがあります。両クラブの活性化を図るために、普及センターは月に1回程度、合同での役員会の開催を支援し、クラブ員と定期的に話し合いを重ねてきました。その結果、両クラブは令和3年4月1日をもって合併し、「坂東市4Hクラブ」として活動することになりました。

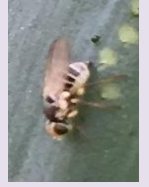
合併後のクラブでは、これまでそれぞれのクラブが行っていた野菜直売活動や食育活動等を引き続き実施していく予定です。次年度は手探りでの活動になると思いますが、お互いのクラブ員が協力し、円滑に活動できるようサポートしていきます。

今まで以上にパワーアップする「坂東市4Hクラブ」を、普及センターではこれからも支援していきます。



管内3地域のネギほ場でネギハモグリバエの発生消長を調査しました

ネギハモグリバエは、幼虫が葉の中に潜り白いすじ状の食害痕をつけます。平成30年10月には、従来の系統（A系統）よりも集中的にネギの葉組織を食い尽くす別系統（B系統）の発生も確認され、今後より大きな被害の発生が危惧されます。



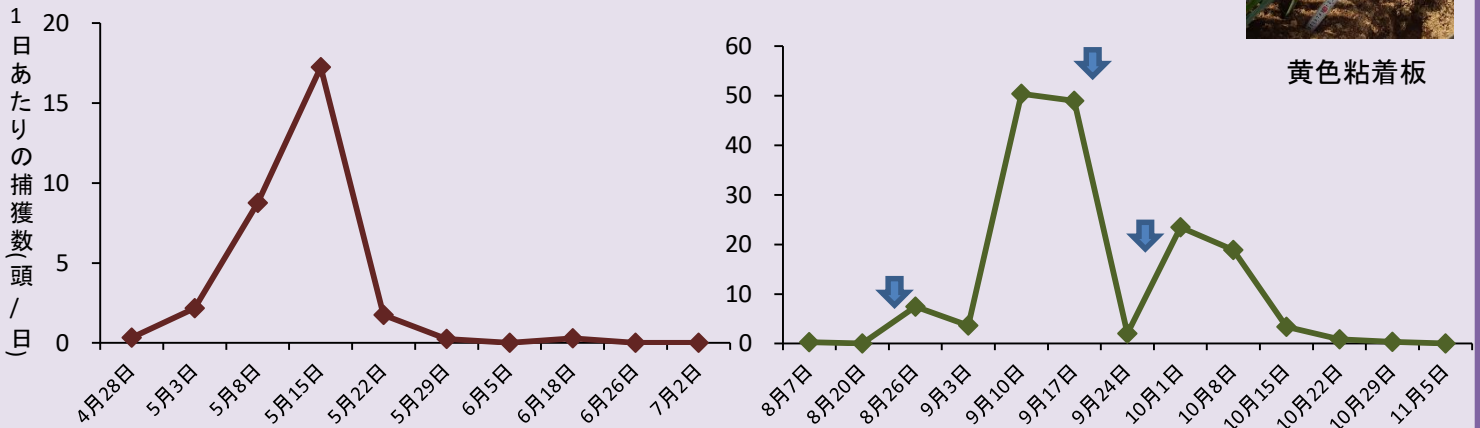
幼虫の食害痕(左)と成虫(右)

普及センターでは4月から、坂東市（岩井地区、猿島地区）、境町のネギほ場に黄色粘着板を設置し、ネギハモグリバエ成虫の飛来状況を調査してきました。その結果、夏ネギでは5月上旬から中旬、秋冬ネギでは9月上旬から中旬にかけて成虫が急増することが分かりました。また、秋冬ネギでは、9月中旬の農薬散布後に捕獲数は一時的に減少するものの、10月上旬以降に再び増加する傾向がみられました。この増減の傾向は、同じく調査を行った他2地域でも類似していました。



黄色粘着板

被害を軽減させるためには、発生初期の防除が重要です。普及センターでは次年度も同様のモニタリング調査を実施し、随時その結果を周知していく予定ですので、防除タイミングの参考にしてください。



黄色粘着板でのネギハモグリバエ捕獲状況(境町ネギほ場) 左:夏ネギ、右:秋冬ネギ
 図中の矢印の日は、農薬を散布したことを示す。

4Hクラブに 入りませんか?

4Hクラブは20~30代の若手農業者で組織され、身近な課題の解決方法やより良い技術を検討するためのプロジェクト活動を中心に仲間づくり等を目的に活動を行っています。令和3年1月現在、坂東地域管内には5つの4Hクラブがあります(右表)。詳しくは普及センターまでお問い合わせください。

坂東市	坂東市岩井4Hクラブ
	坂東市猿島4Hクラブ
境町	さかい4Hクラブ
古河市	あぐり一揆
	いばら4Hクラブ

R3年4月
 合併予定
 ↓
 合併後
 坂東市
 4Hクラブ

2月 土壌診断実施日のお知らせ

2月3日(水)、2月17日(水)の2回

- 個人の農家の方が対象です。
- 受け付けは前日まで可能ですが**先着順となります**ので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- 1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- **1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

年が変わっても先の見通しが立たない状態が続いていると感じます。このような状況下でも、皆様のお役にたつ情報を発信したいという想いは変わりません。今年も引き続きアグリ通信をよろしく申し上げます。(林)

